

金融で未来を拓く

F P G Financial
Partners
Group

2023年9月期 第3四半期 連結決算説明資料 (2022年10月～2023年6月)



株式会社 F P G
(証券コード：7148)

- 2022年12月に新たな企業理念を制定

金融で未来を拓く

私たちは、常にお客さまと伴走し、
金融で未来を拓く、
ファイナンシャルパートナーを目指します。

第3四半期実績
(累計)

- ポストコロナの成長路線をまい進し、第3四半期終了時点で過去最高益※を更新
 - ✓リースファンド事業は、好調な販売が継続し、対前年同期比で大幅な増収増益
 - ✓国内不動産は、販売の回復基調が継続し、通期目標値に対し順調に進捗
 - ✓海外不動産は、好調な販売が継続

通期業績予想
・
期末配当金

- 通期業績予想の上方修正を実施。第4四半期に収益のさらなる上積みを目指す
- 期末配当金（予想）を65.6円に上方修正（前回予想比+4.1円、前年比15.6円の増配）

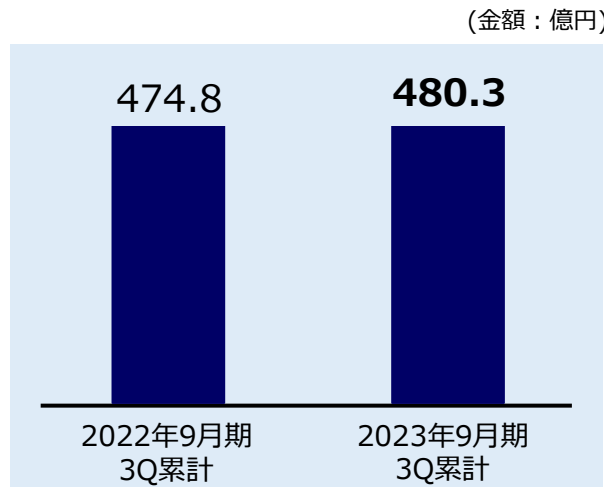
第3四半期
トピックス

- 3つの事業の柱、それぞれにおいて事業基盤が順調に拡大
 - ✓リースファンド事業は、販売額が2019年9月期以来4期ぶりに1,000億円を突破
 - ✓国内不動産は、販売額が3四半期連続で増加し、総顧客数も3,000人を超過
 - ✓海外不動産は、販売開始1年で累計販売額が150億円を突破

※過去最高益：2019年9月期 営業利益144.3億円、経常利益143.9億円、親会社株主に帰属する当期純利益100.3億円

- 売上高は、国内不動産が減少した影響でほぼ横ばいとなるも、利益は、リースファンド事業の伸長と、海外不動産の立ち上げが貢献し、約1.5倍の増益
- 第3四半期終了時点で過去最高益^{※1}を更新

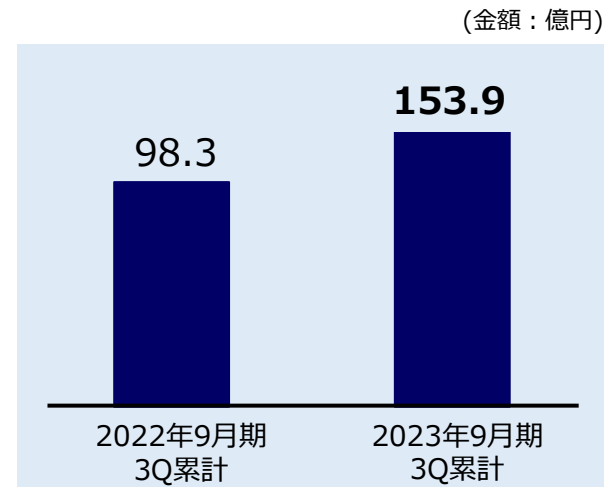
売上高



営業利益

約 1.6倍

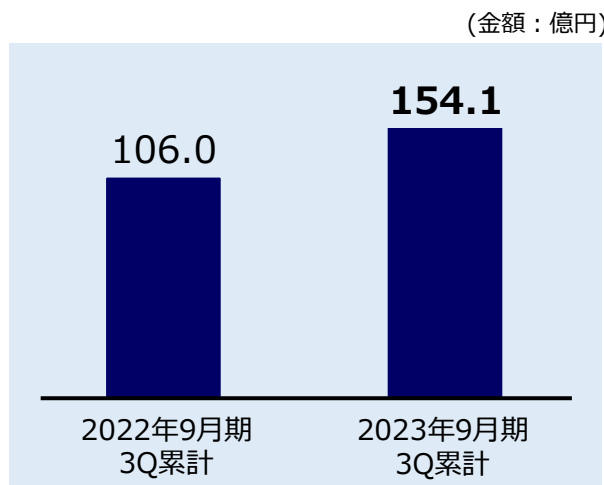
- ✓ 収益性の向上に加え、販売費・一般管理費の適切なコントロールもあり、大幅増益
- ✓ 過去最高益144.3億円を3Q終了時点で更新



経常利益

約 1.5倍

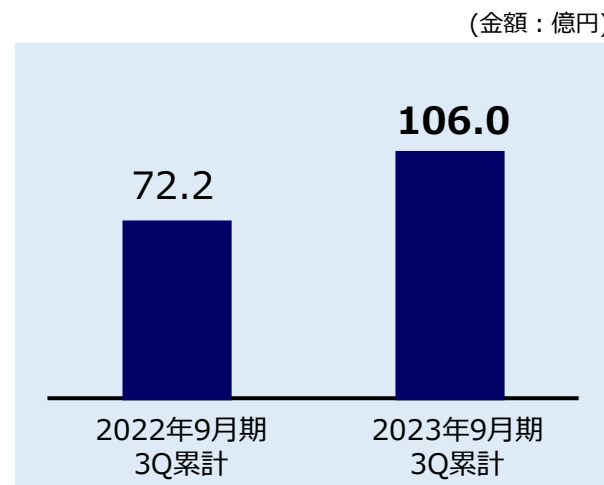
- ✓ 過去最高益143.9億円を3Q終了時点で更新



純利益^{※2}

約 1.5倍

- ✓ 過去最高益100.3億円を3Q終了時点で更新



※1 過去最高益：2019年9月期 営業利益144.3億円、経常利益143.9億円、親会社株主に帰属する当期純利益100.3億円

※2 親会社株主に帰属する四半期純利益

- ポストコロナの成長路線をまい進し、第3四半期終了時点で過去最高益※を更新
- 通期業績予想の上方修正を実施。第4四半期に収益のさらなる上積みを目指す
- 期末配当金（予想）を65.6円に上方修正（前回予想比+4.1円、前年比15.6円の増配）

（金額：億円）

	第3四半期累計			通期				
	2022年9月期 実績	2023年9月期 実績	対前年同期比	2022年9月期 実績	2023年9月期		今回予想	
					前回予想 4/25公表	今回予想 7/27公表	対前年同期比	対前回予想比
売上高	474.8	480.3	+1.2%	591.9	570.0	↑ 585.0	▲1.2%	+2.6%
リースファンド事業	111.9	176.0	+57.2%	142.3	185.0	196.0	+37.7%	+5.9%
不動産ファンド事業	353.1	295.8	▲16.2%	436.9	375.0	379.0	▲13.3%	+1.1%
国内不動産	353.1	277.0	▲21.6%	428.9	355.0	355.0	▲17.2%	+0.0%
海外不動産	-	18.8	-	8.0	20.0	24.0	+199.6%	+20.0%
その他事業	9.7	8.3	▲13.5%	12.6	10.0	10.0	▲21.2%	+0.0%
売上総利益	149.0	212.9	+42.8%	-	-	-	-	-
リースファンド事業	99.7	153.9	+54.2%	-	-	-	-	-
不動産ファンド事業	43.8	53.9	+22.9%	-	-	-	-	-
国内不動産	43.9	37.6	▲14.2%	-	-	-	-	-
海外不動産	▲0.0	16.2	-	-	-	-	-	-
その他事業	5.4	5.0	▲6.5%	-	-	-	-	-
営業利益	98.3	153.9	+56.5%	117.4	157.0	↑ 167.0	+42.2%	+6.4%
経常利益	106.0	154.1	+45.4%	124.6	155.0	↑ 165.0	+32.4%	+6.5%
売上高経常利益率	22.3%	32.1%	+9.8%	21.1%	27.2%	28.2%	+7.1%	+1.0%
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	72.2	106.0	+46.7%	84.7	105.0	↑ 112.0	+32.1%	+6.7%
売上高当期純利益率	15.2%	22.1%	+6.9%	14.3%	18.4%	19.1%	+4.8%	+0.7%
1株当たり配当金（円）	-	-	-	50.0	61.5	↑ 65.6	+15.6	+4.1

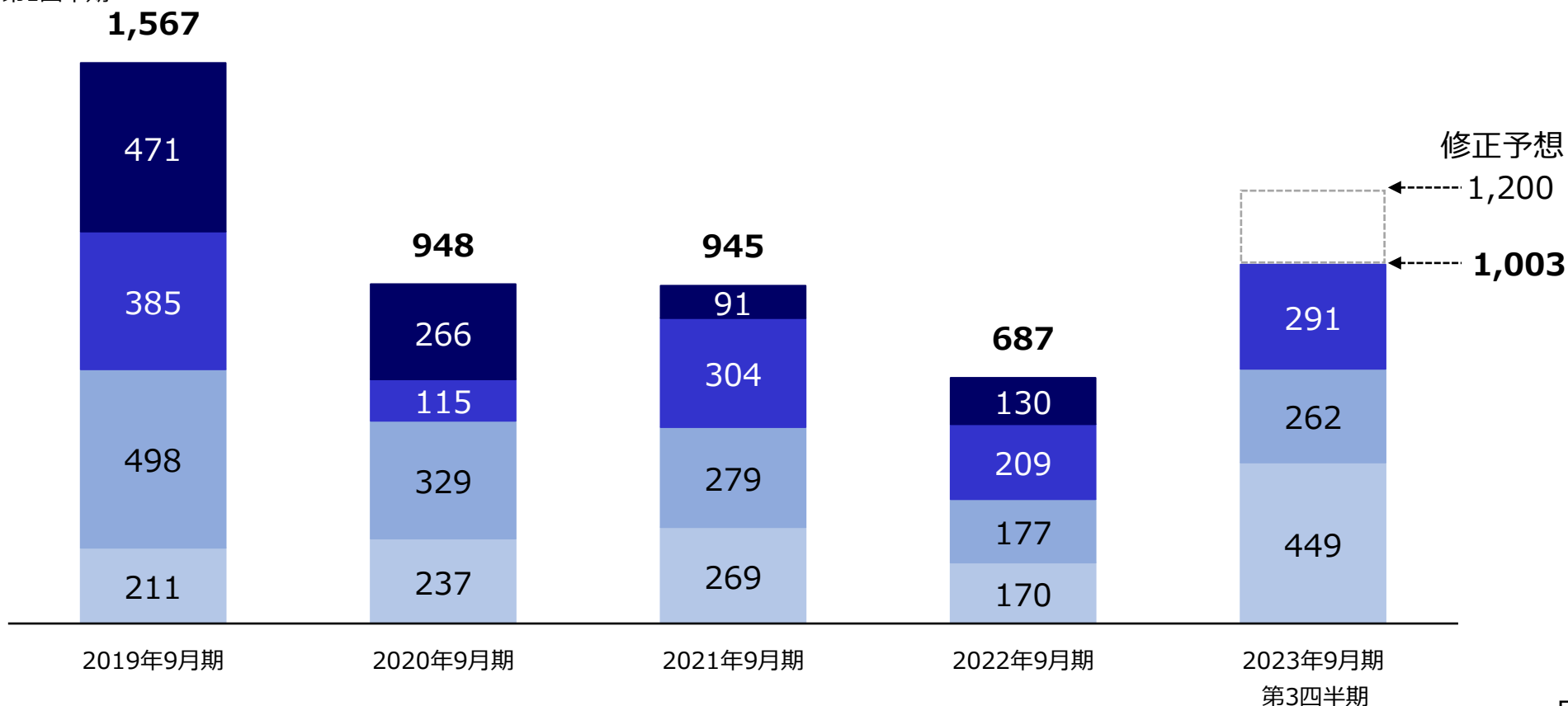
※ 過去最高益：2019年9月期 営業利益144.3億円、経常利益143.9億円、親会社株主に帰属する当期純利益100.3億円

- 潤沢な在庫を強みに積極的な販売を継続した結果、2019年9月期以来4期ぶりに1,000億円を突破
- 好調な販売を踏まえ、通期予想を1,100億円から1,200億円に上方修正

- 第4四半期
- 第3四半期
- 第2四半期
- 第1四半期

販売額の推移

(金額：億円)

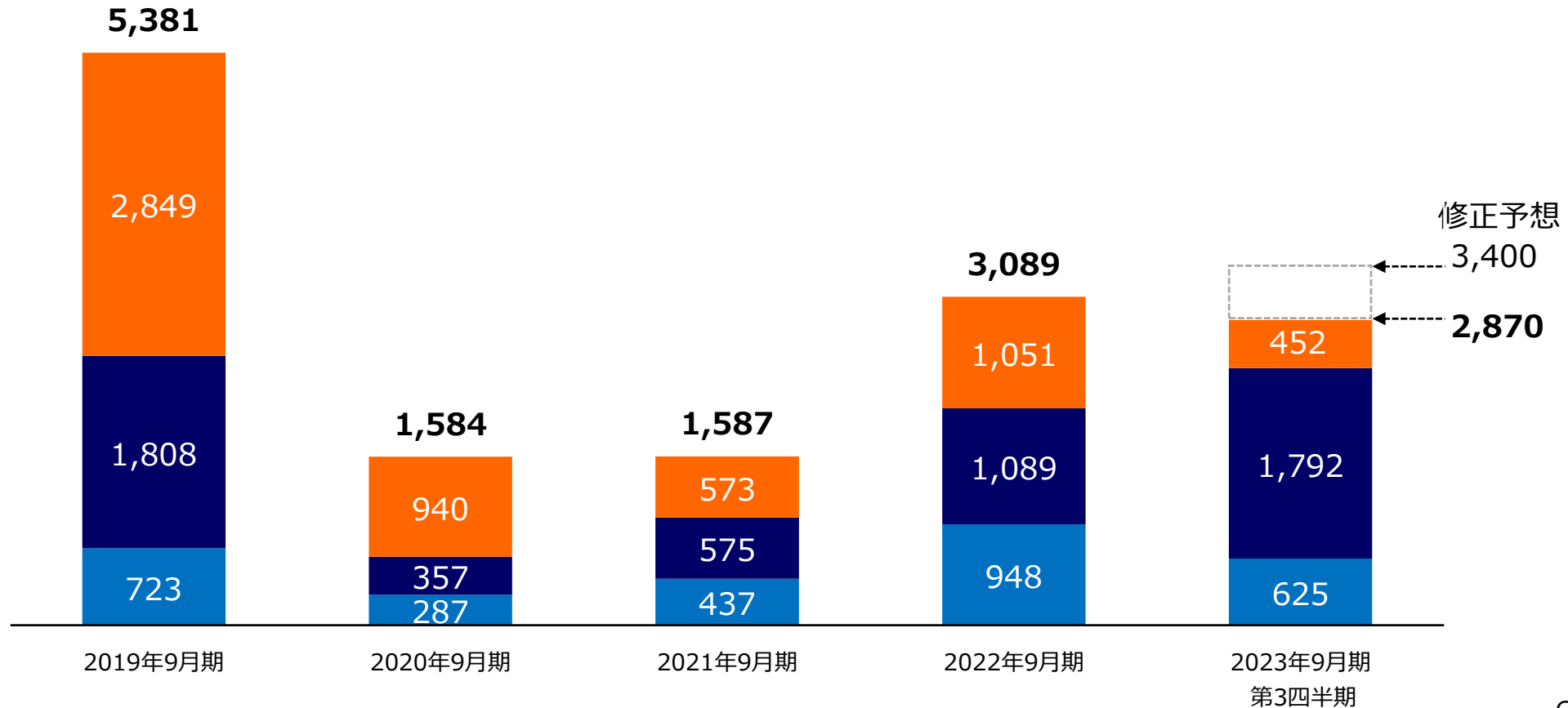


- 船舶案件を中心とした積極的な組成を継続しており、通期予想を3,000億円から3,400億円に上方修正
- 航空機は厳選して組成を行う方針を継続

■ 航空機
■ 船舶
■ コンテナ

組成額の推移

(金額：億円)

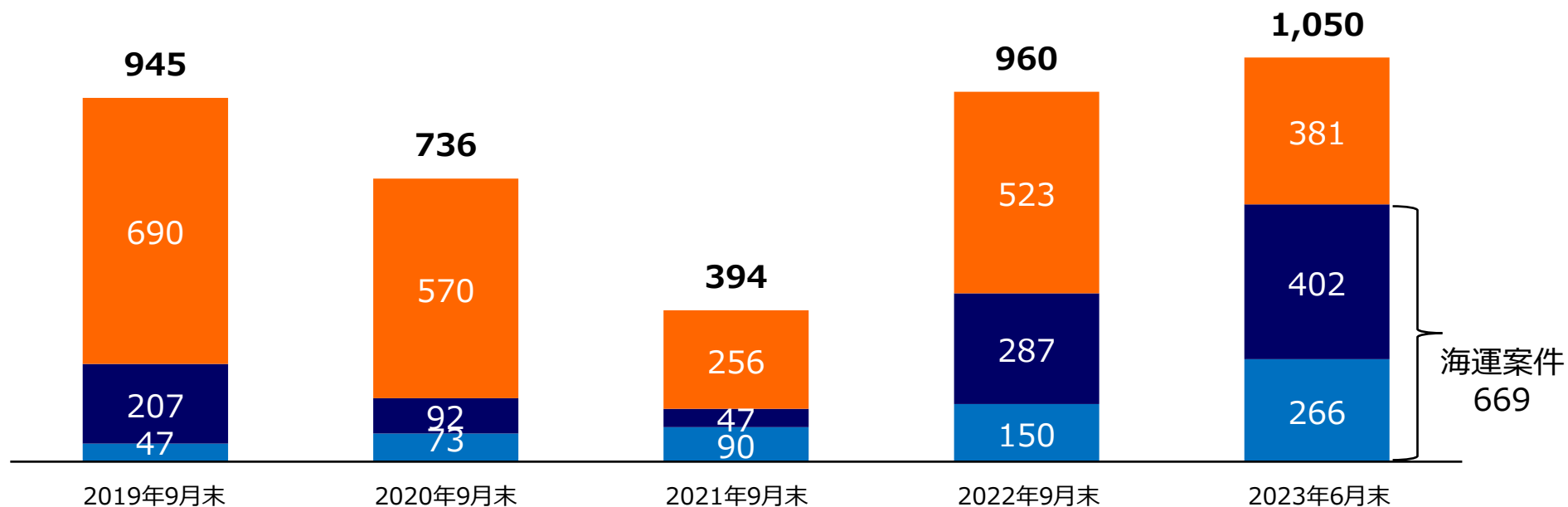


■ 来期以降の販売も見据えた潤沢な在庫を確保

- 航空機
- 船舶
- コンテナ

在庫の推移

(金額：億円)

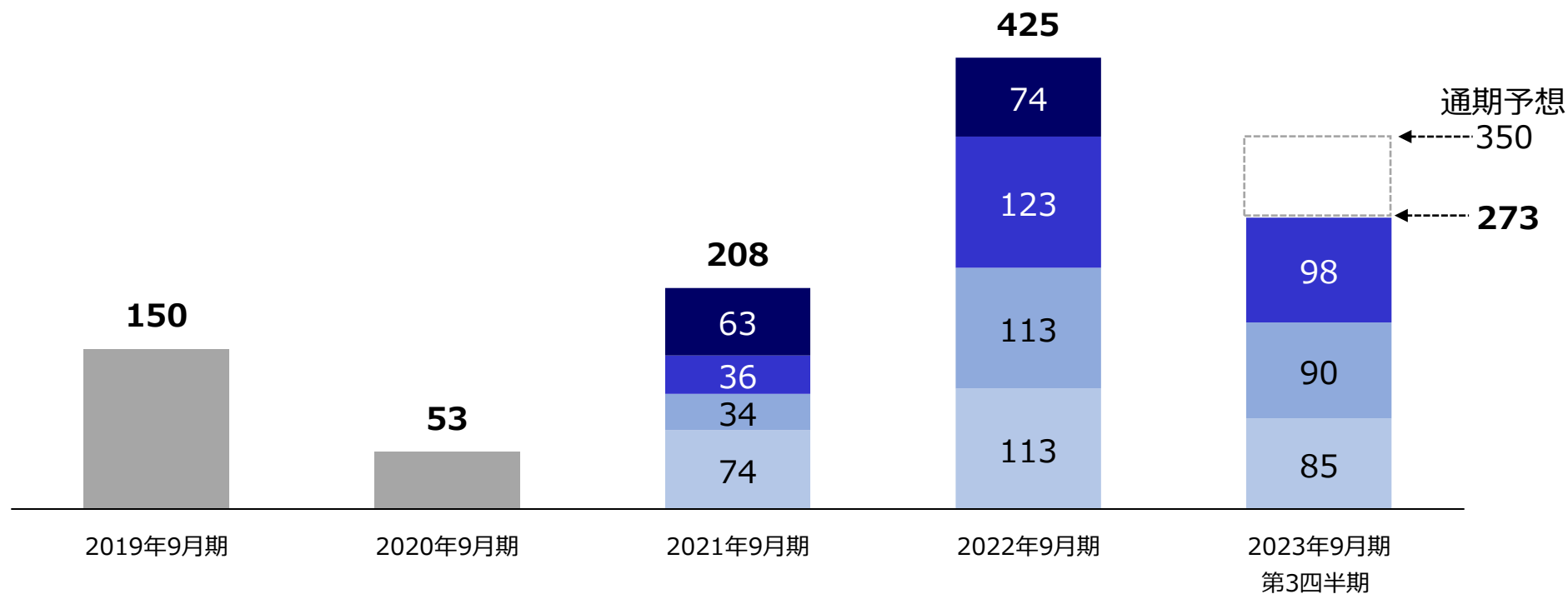


- 販売額が3四半期連続で増加し、総顧客数も3,000人を超過
- 底堅い需要の獲得により、通期予想の達成を目指す

- 第4四半期
- 第3四半期
- 第2四半期
- 第1四半期

販売額の推移

(金額：億円)

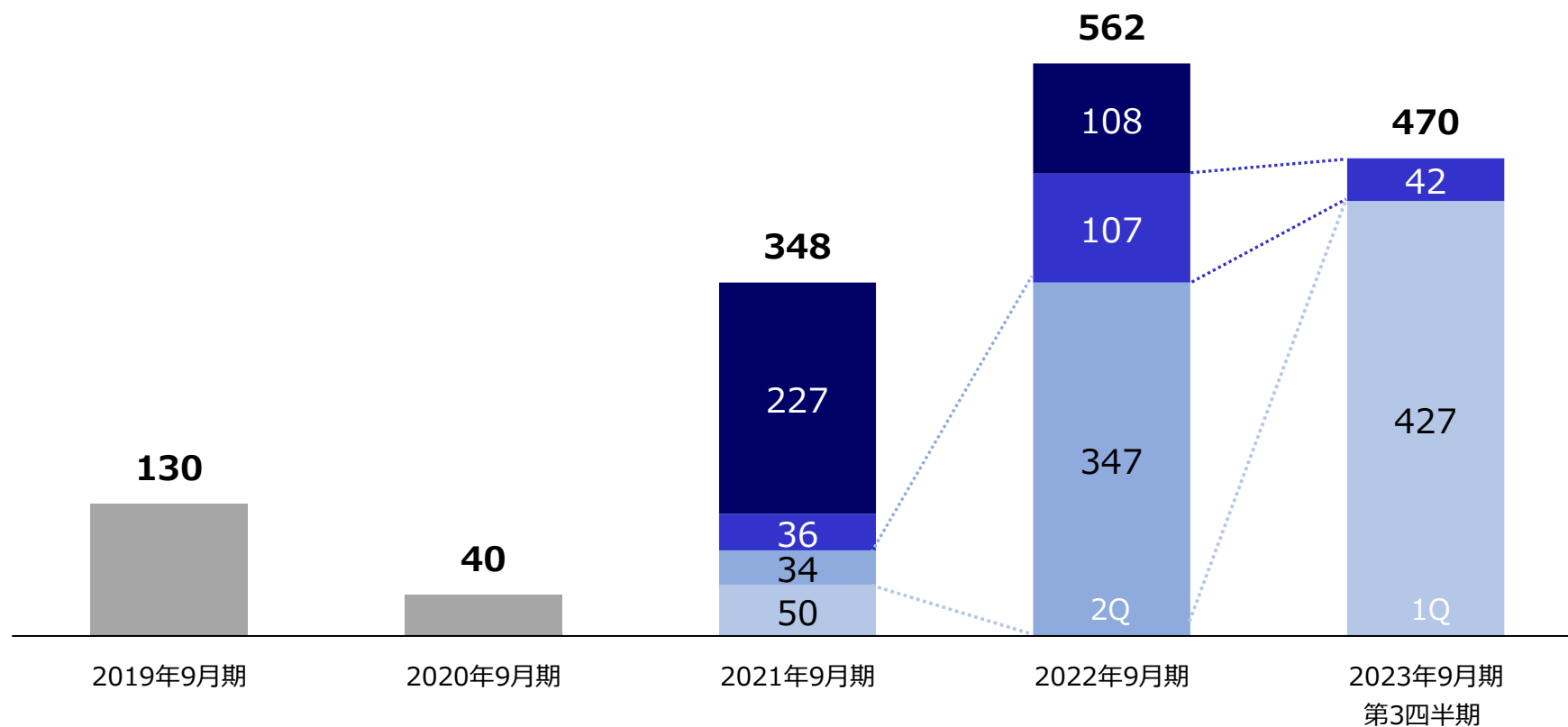


■ 都心一等地の魅力的な物件の組成を継続

- 第4四半期
- 第3四半期
- 第2四半期
- 第1四半期

組成額の推移

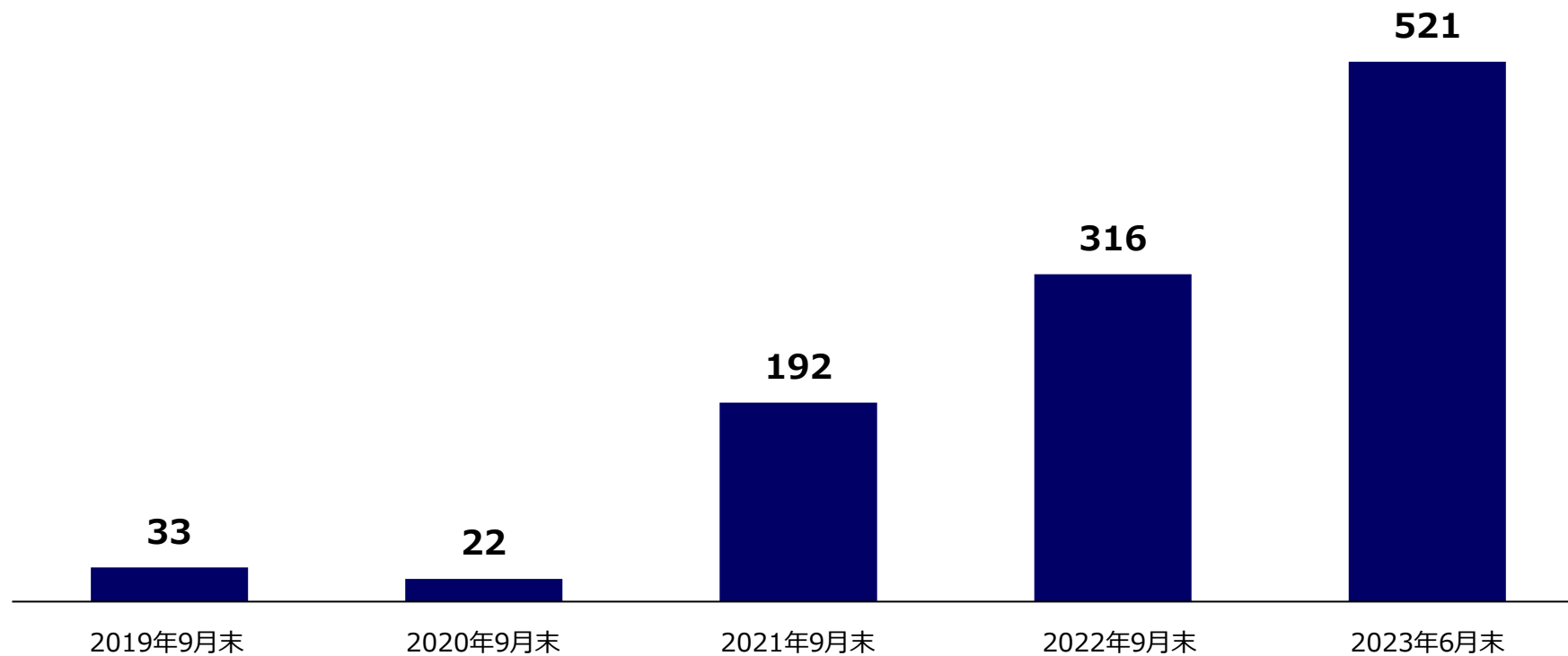
(金額：億円)



- 底堅い需要に見合う在庫を確保

在庫の推移

(金額：億円)

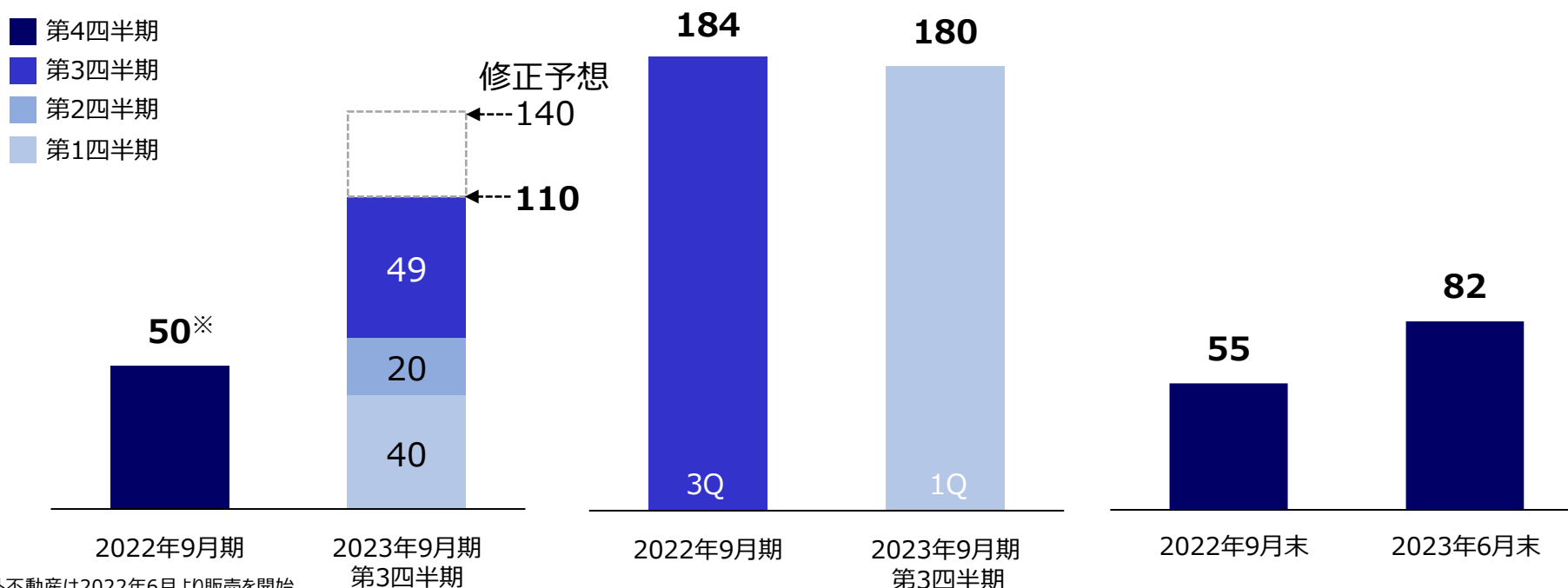


- 販売開始1年で累計販売額が150億円を突破
- 2023年3月後半より販売を開始した米国ハワイ州の第2号案件の販売が好調に推移し、通期予想販売額を120億円から140億円に上方修正
- 旺盛な需要に応えるため、第3号案件の物件取得に向けて交渉が進行中

販売額の推移

組成額の推移

在庫の推移 (金額：億円)



* 海外不動産は2022年6月より販売を開始

- 米国ニューヨーク州エルムスフォードの第1号案件は、2022年6月の販売開始から約8カ月で完売
- 高評販売中の米国ハワイ州ホノルルの第2号案件に引き続き、第3号案件の物件取得に向けて交渉が進行中



海外不動産 第1号案件（出資金販売総額105.1億円）
2022年6月より販売開始から約8カ月で完売

The View on Nob Hill (ザビュー オン ノブヒル)

所在地：米国ニューヨーク州ウェストチェスター郡エルムスフォード
アクセス：米国ニューヨーク州の中心部マンハッタンから車で約35分
戸数：22棟416戸
竣工：1993年/1994年
賃貸面積：322,726ft²（約29,982m²）
構造：木造
用途：住宅



海外不動産 第2号案件（出資金販売総額138.0億円）
第2四半期より販売開始

Queen Kapiolani Hotel (クイーン カピオラニ ホテル)

所在地：米国ハワイ州ホノルル市
客室数：315室
土地面積：36,334ft²（約3,375m²）
構造：鉄筋コンクリート造
用途：ホテル
竣工：1969年（2017年～2019年大規模改修工事实施）

ご参考

(金額：億円)

	2022年9月期 第3四半期累計	2023年9月期 第3四半期累計	増減率	
売上高	474.8	480.3	+1.2%	
① 売上原価	325.7	267.4	▲17.9%	① 売上原価 不動産取得原価、リースファンド事業 案件組成コスト、顧客紹介者への 支払手数料等を含む
売上総利益	149.0	212.9	+42.8%	
販売費・一般管理費	50.7	58.9	+16.3%	
営業利益	98.3	153.9	+56.5%	
② 営業外収益	15.4	21.3	+37.8%	② 営業外収益 一時的に立替えた出資金を投資家 に販売する際に徴収する立替利息 (受取利息として計上)、金銭の信託 運用益等を含む
③ 営業外費用	7.7	21.1	+171.4%	
経常利益	106.0	154.1	+45.4%	
税引前四半期純利益	105.2	152.9	+45.4%	③ 営業外費用 資金調達に伴う支払利息等
法人税等合計	33.3	46.6	+39.9%	
親会社株主に帰属する四半期純利益	72.2	106.0	+46.7%	

- ① 売上原価
不動産取得原価、リースファンド事業
案件組成コスト、顧客紹介者への
支払手数料等を含む
- ② 営業外収益
一時的に立替えた出資金を投資家
に販売する際に徴収する立替利息
(受取利息として計上)、金銭の信託
運用益等を含む
- ③ 営業外費用
資金調達に伴う支払利息等

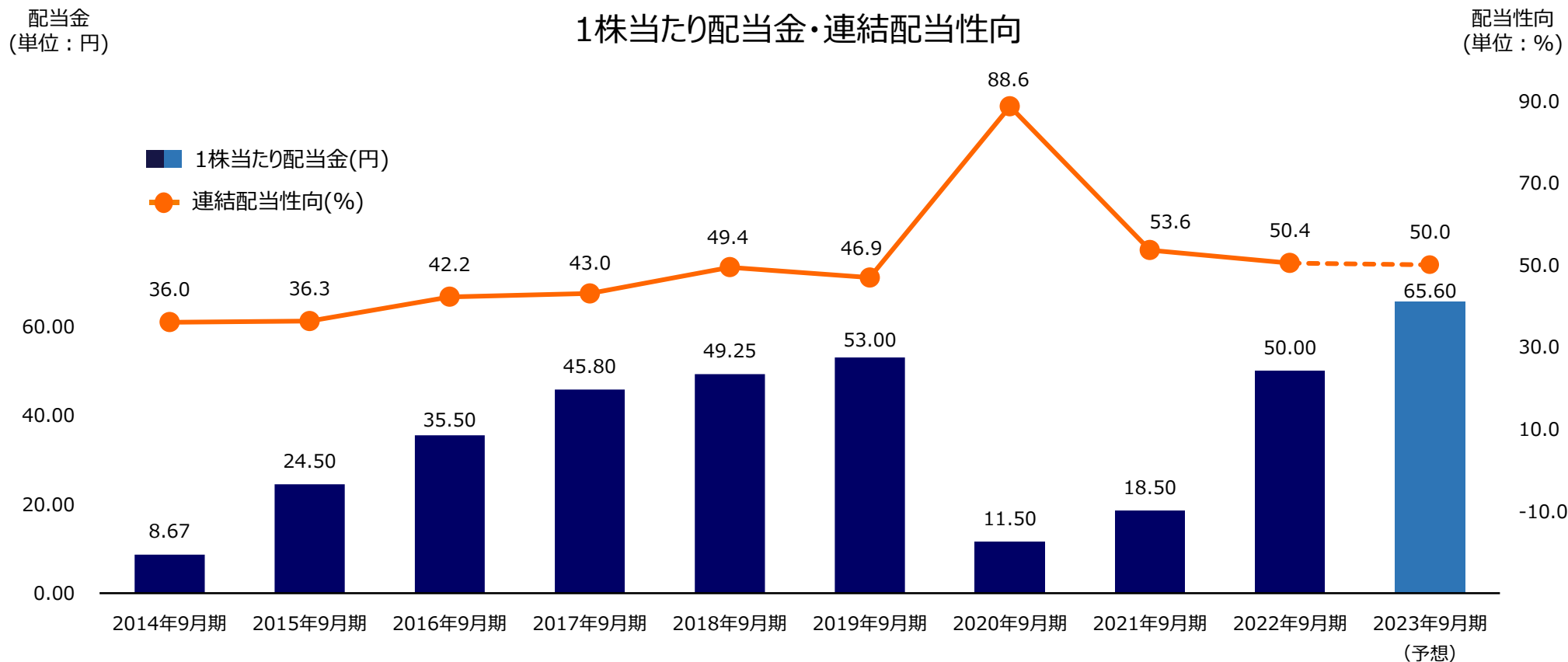
(金額：億円)

資産	2022年9月期	2023年9月期 第3四半期末	増減
流動資産	1,527.3	1,856.6	+329.3
現金預金	131.1	144.5	+13.4
① 商品出資金	806.8	934.6	+127.8
② 金銭の信託（組成用航空機）	208.6	198.1	▲10.5
③ 組成用不動産	316.3	521.8	+205.5
固定資産	53.1	54.1	+1.0
資産合計	1,580.5	1,910.7	+330.2
負債・純資産	2022年9月期	2023年9月期 第3四半期末	増減
流動負債	1,078.5	1,316.6	+238.1
短期借入金等	863.5	1,069.2	+205.7
④ 契約負債	129.3	146.8	+17.5
固定負債	140.3	169.9	+29.6
長期借入金等	134.8	164.6	+29.8
負債合計	1,218.9	1,486.5	+267.6
純資産合計	361.5	424.1	+62.6
負債純資産合計	1,580.5	1,910.7	+330.2

- ① 商品出資金
リースファンド事業および不動産ファンド事業（海外不動産投資商品）において投資家に販売するまで当社グループが一時的に立替えている出資金
- ② 金銭の信託（組成用航空機）
航空機リース案件に係る信託受益権の在庫
- ③ 組成用不動産
不動産ファンド事業（不動産小口化商品）における在庫

- ④ 契約負債
主にリースファンド事業および不動産ファンド事業（海外不動産投資商品）における手数料

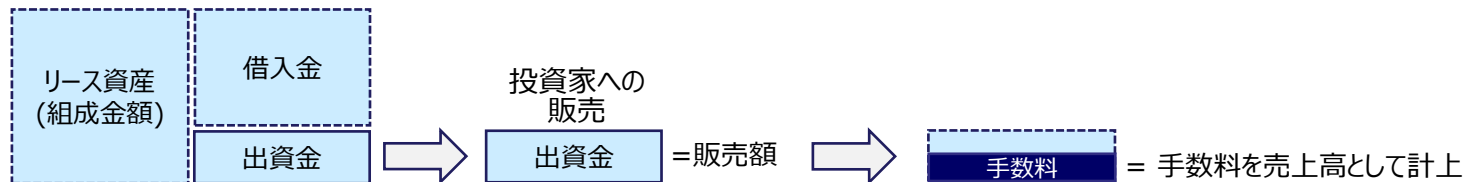
- 基本方針：持続的な成長と企業価値向上のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当を継続して実施
- 配当性向：連結配当性向 50%を目安とする
 - ✓ 2022年9月期 ：1株当たり50.0円
 - ✓ 2023年9月期（予想） ：1株当たり65.6円（前年比 15.6円増配）



- 本決算説明資料では、当社の事業を以下3つの事業区分に分けて説明しております。

1. リースファンド事業

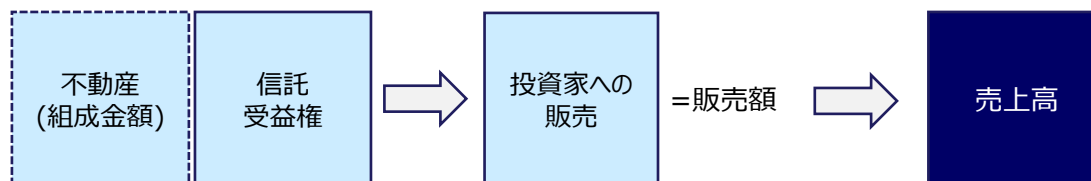
航空機・船舶・コンテナを対象とした、オペレーティング・リース事業（リースファンド事業）の組成・管理および投資家への匿名組合出資持分・任意組合出資持分・信託受益権の販売を行っています。売上高は、オペレーティング・リース事業の組成におけるアレンジメント・フィー、組合出資持分を投資家に販売する際に受け取る手数料等を計上しています。なお、投資家への組合出資持分・信託受益権の販売額は売上高として計上していません。



2. 不動産ファンド事業

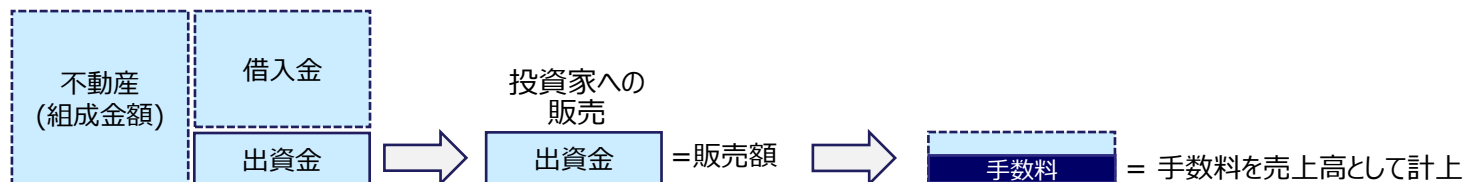
① 不動産小口化商品

株式会社FPG信託の信託機能を活用した不動産小口化商品の組成・管理および投資家への販売を行っており、投資家への販売額等を、売上高として計上しています。



② 海外不動産投資商品

海外不動産を対象とした集団投資事業案件の組成・管理および投資家への任意組合出資持分の販売を行っています。売上高は、集団投資事業案件の組成におけるアレンジメント・フィー、任意組合出資持分を投資家に販売する際に受け取る手数料等が計上されます。なお、投資家への任意組合出資持分の販売額は売上高として計上されません。



3. その他事業

FinTech事業、保険事業、M&A事業、および航空事業等を総称して、「その他事業」としています。FinTech事業の売上高は、システム開発やネットワークインフラ構築に関わる業務受託料等を計上しています。保険事業やM&A事業は手数料、航空事業は輸送等の対価を、売上高として計上しています。

本資料に掲載されている業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいております。
実際の業績は、さまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、掲載の見通しとは異なる可能性があります。

【お問い合わせ】

株式会社 F P G

担当部署：経営企画部

TEL: (03) 5288-5691 E-mail: ir@fpg.jp URL: <https://www.fpg.jp/ir/inquiry.html>